

若鮎Ⅲの運航再開時期等の検討（案）

与件

- 県及び県警が保有する若鮎Ⅰ、若鮎Ⅲ、らいちょうⅡは、耐空検査実施時期を調整し、3機中2機が常に稼働できるよう運用。
- 令和2年度の耐空検査等のスケジュールは別紙のとおり。
- 令和2年4月1日付けで新たな整備士を採用予定。市町村消防本部からの消防航空隊員の3分の1（4名）が交替。

運航再開の考え方、時期及び方法

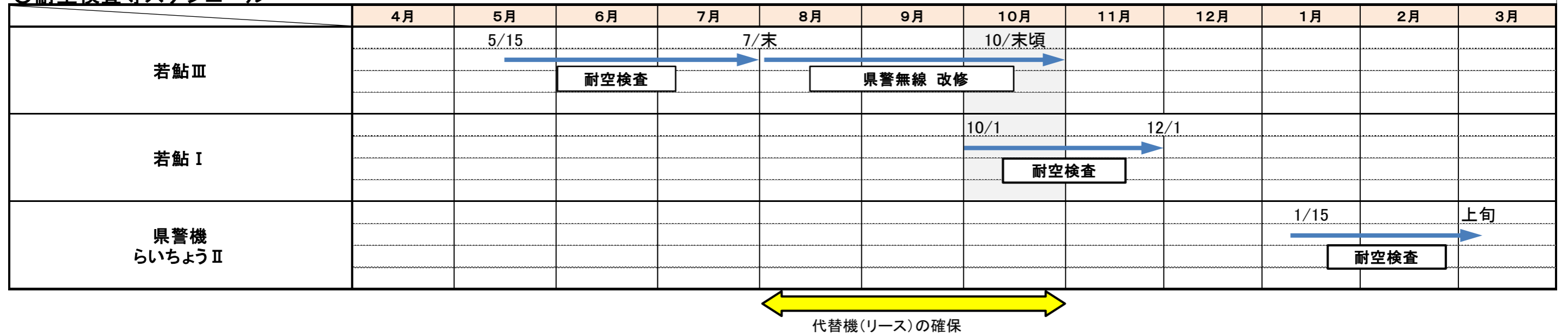
- 若鮎Ⅰ、Ⅲ双方が運航不能となる期間（1か月間）がある。この期間を解消することが必要ではないか。
- 一方、実機訓練による機体への慣熟及び再発防止策の進捗には相応の期間が必要ではないか。
- ついては、若鮎Ⅲ代替機（リース機）を3か月間確保し、8月から実機訓練を開始し、10月からの運航再開を目指すことが妥当ではないか。

【参考】

若鮎Ⅲ代替機（リース機）の検討案

- ・機種 ベル社 B412EP（若鮎Ⅲ同型機）
- ・装備 消防無線、ホイスト、救急搬送機材があり、若鮎Ⅲと同等任務可能

○耐空検査等スケジュール



○主な再発防止策ロードマップ案

